



2025年12月2日

各 位

会 社 名 株式会社ディー・エル・イー
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO・CCO 小野 亮
(コード番号: 3686 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役 CSO 北 川 智哉
(TEL. 03-3221-3990)

2025年12月1日開催 決算説明会にていただいたご質問とそのお答え

平素より当社事業へのご支援を賜り、誠にありがとうございます。2025年12月1日開催の決算説明会にて投資家様よりいただきましたご質問とその回答について、下記の通り開示させていただきます。なお、本開示は情報発信の強化及びフェアディスクロージャーの観点から開示するものです。

記

Q1：御社（DLE）は、連結赤字が続いているが、来季は営業黒字を目指すことであるが、どのような形で達成していくのかを教えてほしい

A1：決算説明資料にも記載しておりますように、既にゲーム制作子会社の売却などを発表しておりますが、2026年3月までに完全に不採算部門の切り離しを行う計画です。それに伴い、来季（2027年3月期）のコストは非常に軽くなる一方で、今期より取り組んでおり経営資源を注力しております、利益率の高い、オルタナティブ動画制作及びAI動画制作が寄与してきます。これにより営業黒字化を達成する計画です。先程説明しましたように、政府の政策及び業界の状況など、当社にとって強い追い風が吹いており2026年3月までに、大型の提携や契約を目指しており、これが達成されるかに注目いただければと思います。

Q2：説明会の資料や本日の話を聞くと非常に興味深いものがありもっと注目を集めてもいいのではないかと感じるが、日々の株式の出来高などを見ても、現状、御社（DLE）の認知度は低いと言わざるを得ない。この点に関して、対策を講じているのか？

A2：野原ひろしの「メシ」の流儀がヤフーのトップニュースで度々取り上げられ、粗想像を超えるヒットとなっているが残念ながら、ご指摘の通り野原ひろしの「メシ」の流儀を制作しているのがDLEであるが、その点に関し一般的に知られておらず結びついていない事は理解しています。当社としては、まず一般向けのアピールの為、PR専門の部署を11月より設置し、今後、様々なメディア

で取り上げていただけるよう新たに取り組んでおります。

次に、投資家の方ですが、まさに12月1日、今日をスタートとして機関投資家向けIRを本格的に稼働します。何を話しても夢物語とならないよう、Q1のようなスクラップ&ビルドを優先し、一定の目処がついたことから、IRにうってでます。1on1ミーティングの入りも、順調です。また、DLEがあまり知られていないということは、IRでは逆にチャンスであり、当社の変革や将来について興味を持っていただけるのではないかと考えております。特に見るべきポイントがQ1の回答のように明確ですので、多くの機関投資家に買っていただけるよう頑張ります。

以上